

2025年度 学校法人早稲田学園 わせがく高等学校 太田学習センター 自己評価

分掌名	各分掌	今年度の取組目標と方策		
生徒募集	生徒募集	2025年度末在籍生 200名以上以上の在籍生を目指す。	4	
		2026年度 新入生 70名以上 の新入生獲得を目指す。	2	
	2.8	エリア別会議年3回以上、全体会議年3回以上実施する。エリア別会議には生徒募集担当も積極的に参画し、情報交換や新規提案、学園全体で募集活動に従事する体制作りを目指す。	3	
		科目履修生50名以上の在籍を目指す（前後期合計）	2	
3.7	広報	HPのまめな更新、コンテンツの充実、操作性の向上に取り組む。わせがく高校HP上での資料請求件数、学校見学会・個別相談会予約件数を合計3000件以上とする。	5	
		新聞・雑誌（印刷媒体）広告から、実効あるWEB広告への転換を継続して促進する。予算は前年度の水準を維持する。	5	
	5.0	通信制高校ナビ・ズバット通信制高校比較等のアフィリエイト広告や、Google広告のリスティング広告等を新規サービスも検討しつつ時流に合わせて実施する。アフィリエイト広告では来校に結び付く質の高い問合せ者の獲得を目指し、1500件の問合せ者数を獲得し、入学者一人あたり8万5千円以下とする。	5	
教務	教務	ダイヤモンド・クエスト・カップの生徒満足度を85%以上にする。	5	
		クラウドキャンパス・スタディサブリを活用し、単位修得率を全体の96%にする。	5	
		適切な評価のため、レポート・試験の作成と取り組み方を監督する。（成績・評価等に関するミス各教科2件以下）	1	
		全体研修の充実を図る。（満足度85%以上）	5	
	4.2	生成AI促進のため、校内生成AI学習会を年に2回実施する	5	
		ディア 図書委員	LibrariEを利用して、教員・生徒合わせて延べ4000冊以上本を借りる。	2
	3.5	LibrariE図書日より年2回以上の発行	5	
		夢育委員会	夢育newsを年2回、前期と後期に発行し、生徒一人一人の夢育のきっかけとなるイベント・事業をそれぞれ100件以上紹介する。	5
	3.7		生徒募集にもつながる夢育プログラムで参加人数を1000名以上（うち中学生を100名）にする。	5
		校歌指導の徹底と定着。	1	
4.1	留学 委員会	アデレード短期留学と3回の事前学習会を実施する	5	
		2026年の留学先を決定し、その留学参加希望者数15名以上とする。	5	
生徒指導	生徒指導	自立した個人として、他者を思いやり尊重する心や態度を育て、いじめ件数ゼロの学校を確立する。	5	
		生徒指導上の理由による退学者ゼロを目指す。	4	
		特別指導の対象となる生徒延べ15名以下を目指し、予防的生徒指導を推進し、生徒の意識改革を図る具体的方策を考え、実践する。	4	
		不慮の事故や自殺などで、1人も生徒の生命が失われることのない環境を教育相談や関係各所と連携して作る。	1	
	4.0	学校安全 委員会	年間の各キャンパスの校内事故発生件数1件を下回るよう、事故減少及び防止への積極的な取り組みを目指す。	2
			避難・防災訓練の実施。（多古本校・飯能本校は年間2回、その他校舎は年間1回以上）避難・防災訓練が実施できない校舎は防災・災害講話の実施をする。	5
	4.2	教育 相談室	学校備蓄品を無駄にしないよう計画的な消費・補充をおこなう。	5
			ケーススタディにおいて、計画・実行・評価の機能を充実させ、多角的な見方を通して生徒一人により多くの人が関わられるよう、チーム支援の拡充を図る。	5
			生徒掌握力の向上に向けて全体研修会や教育相談研修会など、より多くの教員が能動的に学べる校内研修を年2回は実施し、生徒対応の専門的・研究的要素を深める。	5
			生徒状況報告を随時活用し、不登校傾向の生徒状況を全体的に把握しながら、不登校改善率80%を目指す。	5
4.8	進路指導	不登校克服フォーラム等の校内外の教育相談研修会の参加を推奨し、知識・技能を身につけたスクールコーディネーターを1名育成する。	5	
		教科・LHR・特別活動・総合的な探究の時間など、学校教育活動全体を通して指導を行う。生徒の無限の可能性を引き出し自分の夢を実現させるために、1年次から探究や体験活動などを基にして、自分の進路の物語を作成させていく。また、自己実現に必要な能力・認知領域の伸長を図るべく、3年間を通じて基礎学力を定着させ、応用力を身につける学習指導を目指す。さらに、生徒自身が社会の現象に関心を持ち、自分の力で解決する思考力を養成するための指導をおこなう。（進路決定率80%以上）	4	
		進路指導計画にもとづき実行することで、社会的自立を目指した進路指導（キャリア教育）を充実させる。（進路ガイダンス等を各校舎4回以上）	5	
		職業体験、職場見学（年間のべ110人以上）など体験の場の確保や公的機関と連携し、進路に対する意欲を促進させる。	5	
特別活動	特別活動	指定校の獲得200校	5	
		eスポーツ大会・修学旅行において、行事参加者の意見を収集し、次年度へ反映する。平均90%以上の良い評価（非常に良い・良い）を得られるように満足度の高い内容と体験学習の場を提供する。	5	
		学校全体行事参加率の向上を図る。5日制の式典以外の全体行事（eスポーツ大会・修学旅行・1年次遠足）参加率平均75%以上を目指す。	5	
5.0	5.0	全体行事参加率向上のため、各校舎5日制の校外学習・集中体育の参加率平均80%以上を目指す。	5	
		保健厚生	保健厚生	職員による生徒の健康状態把握、且つ生徒自身による健康管理を行うために、健康診断・歯科検診の未受診者を在籍者の150名未満にする。
3.7	3.7			健康診断の受診率を高めるため、未受診者への受診勧告送付を年に4回（5月・7月・11月・1月）、Google Classroomでの呼びかけ記事掲載を年2回（7月・12月）長期休暇前に実施する。
				緊急連絡カードを管理・活用し、学校生活・旅行時の緊急時に対応する。